

今を未来に

(No.15より続き)

毎年12月に行う学校アンケートで、達成度が低いと評価いただくのが、「読書」に関する項目です。子どもたち自身も他の項目に比べると低い評価をしています。

「読書って楽しいもの」「読書は自分の世界が広がるもの」「読書は学力の基礎になるもの」ということを、子どもたちに伝えていきたいと考え、より充実した図書館まつりにしていこうと、取り組みました。



最後の日には、30分休みに図書室で司書さんの読み聞かせがありました。司書さんは昔話のとんちのきいたお話「どくのはいったかめ」を紙芝居で、読み聞かせてくれました。終わってから司書さんが私に「保々の子は、図書館まつりをとても大事にしてくれますね。この期間は図書室に来る子どもとても多くなりました。だから、ちょっと難しいかもしれないとは思いましたが、今日はこのお話にしました。」と伝えてくださいました。

図書委員会の人も、この図書館まつりのために、読み聞かせの本を選ぶことから始まり、読み聞かせの練習やしおり作りに、休み時間なども使って取り組んでくれたと聞きました。

7月4日(火) 緊急対応へのお礼

台風3号の接近に対する緊急対応にご協力をいただき、ありがとうございました。市内では、かなりの小・中学校が4限・5限で授業を打ち切り、緊急下校の対応をとらせていただきました。中には、学童保育所との連絡がなかなかつかなくて連絡がすぐにはできなかった小学校があったり、学童保育所も閉鎖してしまったり（地域によって事情が異なるため、そうなったのだと思います）して、学校待機の児童が相当数いて、大変であった学校もあったと聞いています。本校は、非常にスムーズに保護者の皆様が対応を考えてくださり、お子様の安全確保ができたと思っています。



今回の連絡でわかったことですが、四日市市のネット環境がウイルスやサーバー攻撃への対応のため、この6月から大きく変わったため、「すぐメール」の発信が非常にしにくくなったことがわかってきました。以前も、市内60校の小・中学校が一斉に緊急連絡をいれたところ、携帯会社によって2時間以上受診するために時間がかかったことがありました。今後のこともありますので、教育委員会にはその対応を本格的な台風シーズンの前に対策を講じて欲しいと申し入れました。

7月5日（水）3年A組 人権総合学習全体研修の公開授業パートII

人権総合学習の授業として3年生は「みんなでのしもう～保育園・幼稚園の子と、みんなでのしもう～」の学習をしています。この日は3年A組の子が保育園の4歳児の子と交流をしてきて、課題「なかよく遊ぶために大事なことは？」を考え合いました。大事なことを考えるきっかけとして「何か困ったことはなかった？」と聞かれると、多くの子どもが「困ったことはない！」と言います。そんな空気の中、一人で二人を相手にしていた子が「二人がしたい遊びが違う時」という意見を出し、それをきっかけに多くの子がやっていた遊びが自分が好きでない遊びだったから困ったことをどんどん意見として出していました。特に苦手なものをやって欲しいと頼まれた時は、困ったなあと思った子がたくさんいました。また、「砂遊びをしていたら背中に砂を入れてきたから、今度してきたらどうしようかと思った。」という子もいました。こうした困ったことをどう解決するか、遊びを変えた子と遊びを変えなかった子に分かれて意見を聞いたりしました。保育園の子に合わせた方がいいという意見や時間で考えていたという意見、好きでなかった遊びでも話しながらやっていると面白くなってきたという意見が出されました。そして、自分にはできないことをやると言われたら、「できないって正直に言う。」という意見が出されました。子どもたちはやってあげるという気持ちより、一緒に楽しめることを話して決めていくといいのではないかと気づき、そのやりとりの中でちょっといい自分になることをどの子も感じて欲しいと思えてくる授業でした。



7月7日（金）3年生 大豆の種を蒔いてきました。（体験学習）

7日（金）の2限目、本校コミュニティスクール委員の齋藤悟さんにご指導いただき、3年生の子どもたちが、大豆のたねまきを体験しました。

長靴に軍手と準備万端にして、学校から少し北へ行った市場の畑まで歩いて行きました。畑に着くと、まっすぐに伸びる立派な畑の畝が2つありました。そして、齋藤さんからたねのまき方を教えていただきました。

1つの畝に2列まくこと。第一関節まで指を土にさして穴をつくり、2つずつ種を入れたら、土を軽くかぶせること。畝の両側に分かれて、さっそくたねまき。手

には少し大きな軍手に2つぶの大豆をしっかり持って、教えていただいたことを思い出しながら、たねまきに挑戦。「それでは、穴が深すぎて芽が出やんな。」「まくところが寄りすぎやんように気をつけて。」と齋藤さん。暑くて、長靴で動きにくかったからか、「まだするの?」という子に、「勉強は、お仕事。えらいのは、当たり前!」と、笑顔で伝えてくださる齋藤さんでした。

まき終えた後に、たねまき機が装着されたトラクターによるたねまきの実演を見せていただきました。少しずつ大豆が落とされ、ローラーが通って土のふたをするという仕組みのようです。最後に、子どもたちから「大豆の好きなものは何ですか。」と質問がありました。「ええこと言う!大豆にとって大事な栄養はリンです。」と大豆栽培に必要な栄養についても教えていただきました。どんな芽が出るか今から楽しみの子どもたちです。

